

watchOSのハイライト

iOSのライブアクティビティが、Apple Watchに自動で表示されるようになりました。アプリにダブルタップ機能を導入できます。さらに、拡張されたウィジェットの機能を通じて、よりコンテキストに応じた優れた機能を、より適切なタイミングで提供できます。

スマートスタックでのiOSのライブアクティビティの表示

Apple Watchに表示されるライブアクティビティのレイアウトを最適化し、適切なレベルの情報とインタラクティブ機能を最適なタイミングで表示できます。

ダブルタップによる片手でのすばやい操作

handGestureShortcutモディファイア(修飾子)を使って、ボタンやトグルをアプリの主要なアクションとして定義することで、ユーザーがダブルタップで重要な操作を行えるようになります。



WorkoutKitを使って、プールでのスイミングの
カスタムワークアウトをインポートしましょう。

watchOS 11におけるスマートスタックウィジェットのアップデート

- `AccessoryWidgetGroup`を使うと、3つの個別のビューと、アプリの様々な箇所へのディープリnkを作成できます。
- iOSやmacOSと同じAPIを使用するインタラクティブ機能を追加して、ウィジェットを開いたまま各種のアクションを実行するための機能をユーザーに提供できます。
- 時刻、日付、場所、日課のキューを使用することで、適切なタイミングでウィジェットに提案を表示できるようになります。

watchOSでのデザインに取り組む方へ

developer.apple.com/jpでヒューマンインターフェイスガイドラインを確認 >